

秋の暮	誤? : 向ふ岸もやがて途切れて秋の暮	1997. 11. 15	秋の暮	町中を子供の帰る秋の暮	2015. 11. 6
	向う岸もやがて途切れて秋の暮	2023. 11. 15		<b>残りたる子らで遊べり秋の暮</b>	2022. 10. 14
	<b>対岸もやがて途切れて秋の暮</b>			町中の子供も帰る秋の暮	2023. 11. 15
	<b>胡麻の香の金平牛蒡秋の暮</b>	2012. 3. 12		市中の子供も帰る秋の暮	2023. 11. 16
	<b>点線の終点は点秋の暮</b>	2014. 3. 12		上京の子供も帰る秋の暮	
	点線が点で終りぬ秋の暮			下京の子供も帰る秋の暮	
	点線が点で終るよ秋の暮			下町の子供も帰る秋の暮	
	点線に終点の点秋の暮			山の手の子供も帰る秋の暮	
	点線の終りの点や秋の暮			町住みの子供も帰る秋の暮	
	点線の終点の点秋の暮			町に住む子供も帰る秋の暮	
	就中流れ解散秋の雨	2014. 8. 14		東京の子供も帰る秋の暮	
	降る雨に流れ解散秋の暮			都市に住む子供も帰る秋の暮	2023. 11. 24
	秋雨に流れ解散とぼとぼと	2023. 11. 17		都市の子も半ば帰りし秋の暮	
	<b>ふる雨に流れ解散秋の暮</b>	2023. 11. 24		都市の子も半ばは帰る秋の暮	
	まだ行きしことなき駅の秋の暮	2014. 10. 28		都市の子も帰り始めし秋の暮	2023. 11. 25
	行きしことある駅々の秋の暮			都市の子も帰り始める秋の暮	
	降りたことなき駅駅の秋の暮			都市の子も帰りを急ぐ秋の暮	
	降り立ちしことなき駅の秋の暮			都市の子も帰り初めたる秋の暮	
	<b>まだ行きしことなき町の秋の暮</b>			都市の子も友に別れて秋の暮	
	恐らくは行かぬ町なり秋の暮			<b>町の子に町の寂しさ秋の暮</b>	
	いつか行くつもり町の秋の暮	2014. 11. 1		灯しても灯してもなほ秋の暮	2015. 11. 8
	恐らくは行かぬ町かも秋の暮	2017. 10. 16		火を焚いて明るくしたり秋の暮	2023. 11. 14
	<b>まだ降りしことなき駅の秋の暮</b>	2023. 11. 24		火を焚いて明るかりける秋の暮	
				火を焚けば明るくなりぬ秋の暮	
				火を焚けばしばし明るし秋の暮	2023. 11. 15
				<b>灯せば明るくなりぬ秋の暮</b>	2023. 11. 16
				<b>石蹴りの石蹴りにけり秋の暮</b>	2016. 12. 13
				石蹴りの石の蹴られて秋の暮	2019. 5. 28
				缶蹴りのカンと蹴られて秋の暮	2023. 11. 16
				缶蹴りのカーンと蹴られ秋の暮	2023. 11. 17
				缶蹴りのカーンころころ秋の暮	
				缶蹴りの缶の転がる秋の暮	2023. 11. 18
				缶蹴りの缶が転げて秋の暮	
				缶蹴りのかんからかんと秋の暮	
				石けりの時に缶けり秋の暮	2023. 11. 19
				石けりのけふは缶けり秋の暮	
				石けりの石に選ばれ秋の暮	2023. 11. 24
				<b>缶けりのかんからかんと秋の暮</b>	
				<b>石けりの石を選びて秋の暮</b>	

秋の暮	原つばも喇叭の音も秋の暮	2017. 9. 19	秋の暮	学校の雨の校門秋の暮	2017. 10. 16
	原つばの喇叭の音も秋の暮	2018. 9. 8		学校の門が閉まりて秋の暮	
	<b>原つばも喇叭も消えて秋の暮</b>	2018. 9. 9		校門を閉めて寂しき秋の暮	
	屋上に小さな人や秋の暮	2017. 10. 7		正門も裏門も閉め秋の暮	
	屋上に小さな人や秋の雲			裏門も正門も閉め秋の暮	
	屋上に小さな人や秋の晴			<b>校門を閉めて人なき秋の暮</b>	
	屋上の人の小さき秋の暮	2019. 5. 28		西の門東の門や秋の暮	2017. 10. 17
	屋上の手摺に人や秋の暮	2023. 11. 12		門閉めて校庭広し秋の暮	
	屋上は何処へも行けず秋の暮	2023. 11. 15		校庭を歩く人影や秋の暮	
	屋上は行き止りなり秋の暮			門を閉ぢ校庭広し秋の暮	
	屋上といふ行き止り秋の暮			閉門の校庭広し秋の暮	
	屋上はどん詰りなり秋の暮			校庭を帰る人あり秋の暮	
	都には屋上多し秋の暮			門を閉ぢて校庭広し秋の暮	
	<b>屋上の近くの空や秋の暮</b>			校庭の広くなりたる秋の暮	
	<b>屋上の空の近くの秋の暮</b>			校庭の広く残りし秋の暮	
	屋上に人影のなし秋の暮			校庭に影の伸び来る秋の暮	
	屋上は大方無人秋の暮			校庭に校舎の影や秋の暮	
	屋上へ出るドアの鍵秋の暮			<b>校庭に人影長し秋の暮</b>	
	屋上に残る数人秋の暮			校庭を斜めに帰る秋の暮	2019. 5. 28
	屋上は雨風に耐へ秋の暮			柿の木に鴉が鳴いて秋の暮	2018. 10. 28
	屋上に残る人影秋の暮			帰りゆく鴉が鳴いて秋の暮	2021. 8. 29
	屋上に残る人あり秋の暮			鴉カーカー人はとぼとぼ秋の暮	2023. 11. 16
	屋上にまだ人影や秋の暮			帰りゆく鴉カーカー秋の暮	
	屋上にしばし人ある秋の暮			巢へ帰る鴉カーカー秋の暮	
	屋上に作業の人や秋の暮			<b>かあかあと鴉が鳴いて秋の暮</b>	2023. 11. 17
	屋上で作業してゐる秋の暮			かあかあと鴉が帰る秋の暮	
	屋上の作業の続く秋の暮			<b>鴉かあかあ人はとぼとぼ秋の暮</b>	2023. 11. 18
	屋上は人寄せ付けず秋の暮			鍋底を銀に磨きて秋深し	2020. 10. 15
	屋上に人現れし秋の暮			<b>鍋底のテフロン黒し秋の暮</b>	
	屋上の機械修理や秋の暮				
	<b>来てみれば屋上広し秋の暮</b>	2023. 11. 17			
	屋上の広くて親し秋の暮				
	屋上の機械ユニット秋の暮	2023. 11. 18			
	屋上に並ぶ機械の秋の暮				
	<b>屋上の吹きつ曝しの秋の暮</b>				
	<b>屋上のコンクリートの秋の暮</b>				

秋の暮	空腹の如き寂しさ秋の暮	2021. 8. 24
	空腹に似て寂しさや秋の暮	2021. 9. 2
	空腹のやうな寂しさ秋の暮	
	空腹のやうな虚しさ秋の暮	
	空腹のやうな充実秋の暮	2023. 11. 16
	空腹のやうなマイナス秋の暮	
	空腹のやうに真つ赤な秋の暮	
	<b>空腹の家路しみじみ秋の暮</b>	
	空腹の帰路にしみじみ秋の暮	
	空腹と違ふ虚しさ秋の暮	
<b>空腹と似て寂しさや秋の暮</b>	2023. 11. 17	
<b>マイナスはプラスに非ず秋の暮</b>	2023. 11. 24	
寂しさに橋を渡りぬ秋の暮	2021. 8. 29	
<b>海に見える橋を渡りぬ秋の暮</b>	2021. 9. 1	
秋の暮橋を渡れば寂しいぞ	2021. 9. 2	
秋の暮橋を渡るは寂しいぞ		
秋の暮橋が掛かりて寂しいぞ	2023. 11. 14	
秋の暮橋が掛かつて寂しいぞ		
<b>秋の暮橋を渡るは寂しかり</b>	2023. 11. 17	
神もまた寂しかるべき秋の暮	2021. 9. 1	
神様も寂しかるべき秋の暮		
神様も寂しかるらむ秋の暮		
神もまた寂しかるらむ秋の暮		
神もまた寂しかりしや秋の暮	2021. 10. 16	
<b>神々も寂しかりしや秋の暮</b>		
神々も寂しがりしや秋の暮		
神々も寂しかるべし秋の暮	2023. 11. 16	
寂しくて神も火を焚く秋の暮		
寂しさの神々の火か秋の暮		
神々も寂しかるらむ秋の暮		
<b>沖縄も暮れて日本の秋の暮</b>	2023. 9. 9	
<b>秋の暮さびしがり屋を虜にす</b>	2023. 11. 17	
秋の暮寂しがり屋を虜にす		
病院の産科明るし秋の暮	2023. 11. 25	
町中に産科の灯あり秋の暮		
<b>この町に産科の灯あり秋の暮</b>		
町なかに産科の灯あり秋の暮		